# 令和7年度 水槽付消防ポンプ自動車

## 仕様書

## 車体

- •緊援隊対応車両
- ・オートマチック、4駆
- 中型

## 艤装

- ・ハイルーフ
- ·全長700m以下
- ·水槽容量1500L以上
- ・ホース延長用資機材を加納式とする

#### 第1章 総 則

1 この仕様書は、栃木市消防本部(以下「当本部」という)が、令和7年度に購入する水槽付消防ポンプ自動車I-B型(以下「車両」という)の艤装、性能及びその他 運用等に関する必要な事項について定めるものである。

なお、購入台数は新車1台(装備品、付属品含む)とする。

- 2 車両は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成 18 年 4 月消防消第 49 号) の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 I-B 型の要件を満たすこと。
- 3 車両は、水槽、消防揚水ポンプ及び、各種資器材、照明装置等を装備し、車両色塗装は消防朱色とし、消火及び各種災害活動の永年の使用に十分耐えられる構造で、その特性を十分に発揮できるものであること。
- 4 車両の製作は、この仕様書によるほか動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令、 道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、消防用車両の安全基準について、その他 関係法令、通達等に適合し緊急車両として承認の得られるものであることとし、共通 の解釈として品質確保、環境対策の配慮からISO9001、ISO14001認 証取得による品質環境管理システムによって製造が行われている製作会社に於い て製作すること。
- 5 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不明な点については当本部に質問し 十分に熟知した上で契約すること。
- 6 受注者は、契約後仕様書詳細について当本部と十分な打ち合わせを行い、製作承認 図等を当本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- 7 受注者は、製作にあたりこの仕様書に疑義の生じた場合は、その都度速やかに当本 部と協議を行い解釈すること。

なお、この仕様書を変更する必要が生じた場合には、当本部と打ち合わせを行い変 更承認図を提出し、承認を得ること。

- 8 車両艤装品、装備品、取付品及び附属品は、すべて新規製品とすること。
- 9 製作艤装にあたっては、次の点に留意すること。

- (1) 頑丈かつ軽量で安全に操作できるものであること。
- (2) 車両本体は、常時登録された車両総重量の状態において十分に耐え得る構造強度であること。また、車体の艤装材料は、JISG3101(一般構造用圧延鋼材)又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用してあること。
- (3) 車体、取付品、取付装置、積載品及び付属品はすべて新規製品を使用すること。
- (4) 製作艤装全般にわたり使用する電球及び照明は、特に指定する場合を除きすべてLED式とすること。なお、LED式を使用することができない場合は当本部と別途協議すること。
- 10 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 11 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 12 仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準仕様とする。
- 13 受注者は、納車(完成検査終了)に至るまでの間の(車両移送中を含む)車両の保 管、保全に関して一切の責任を負い、事故、故障、破損、焼損及び盗難その他不具合 等が生じた場合はすべて保証すること。

#### 第2章 提出書類

- 1 受注者は、契約後に次の書類を2部提出すること。
  - (1) 製作工程表
  - (2) 製作承認図 (艤装5面図)
  - (3) 積載資器材配置図(4面)
  - (4) 骨組及び配管図
  - (5) 消防ポンプ装置の関係図
  - (6) 真空ポンプ (エゼクター装置) の関係図
  - (7) 水槽関係図
  - (8) 電気配線図
  - (9) 諸元明細書
- (10) キャビン内図
- (11) ISO9001 ISO14001登録証(写)
- (12) その他当本部が指示する書類

- 2 受注者は、納入時に次の書類を2部提出すること。
  - (1) 車両取扱説明書
  - (2) ポンプ取扱説明書
  - (3) 整備要領書
  - (4) パーツリスト
  - (5) ポンプ性能試験成績表
  - (6) 受託試験合格証等 (安全基準に関するもの含む)
  - (7) 各資器材取扱説明書
  - (8) 工程写真
    - ア 製作中各工程 (シャシ、組立中、塗装後)
    - イ 試験工程(重量実測試験、放水試験、その他の試験等実施可能なもの)
  - (9) 車両責任保証書及び自動車審査申請関係書類(写)
- (10) 車両安定傾斜角度等に関する実測証明書
- (11) その他当本部が指示するもの及びメーカーで提出できるもの

#### 第3章 検 査

- 1 検査の種類
  - (1) 中間検査は、当本部が適当と判断する時点で当本部が立会い次の内容を実施する(塗装前もしくは塗装後で各装備品等が仮設置できる時点を目安とする)。
    - ア シャシを含む艤装の検査
    - イ 装備、取付品の検査
    - ウ その他必要なもの
  - (2) 完成検査は、本仕様書、承認図に基づき、納車後直ちに次の内容を当本部で実施する。
    - ア 艤装全体の検査
    - イ 各装備及び資器材の検査
    - ウ 附属品及び機能検査
    - エ その他必要な事項
- 2 検査日程は、当本部に提出した製作工程表に基づき、検査を受けられる状態で日程 を組むこと。
- 3 検査手続きは、遅くとも実施予定日の15日前までに当本部へ検査依頼書を提出

すること。

- 4 検査にあたっては、技術担当者及び営業担当者が必ず立ち会うこと。
- 5 検査場所は、中間検査にあっては制作会社とし、完成検査については当本部指定の 場所とする。
- 6 検査の結果、当本部が不都合と認めた事項、箇所等については、直ちに修復、又は 部品交換等を完了させ、再検査を受けること。
- 7 上記の他に、メーカーで実施できる検査及び必要な検査は全て実施すること。

#### 第4章 納入

- 1 納入期限は、令和8年3月31日 (火) とする。
- 2 納入場所は、当本部の指定する場所とすること。
- 3 納入台数は、1台とする。
- 4 納入日には、資器材等を含め一切を納入すること。また、車両及び資器材の燃料は 全て満量であること。
- 5 車両及び資器材は、全て使用可能な状態で納入すること。

#### 第5章 補 則

- 1 車両の保証期間は、当本部の検査に合格した日から1年間とする。ただし、保証期間後においても明らかに設計不良、製作不良並びに材質不良に起因する不具合が生じた場合は、受注者の責任において無償で修理、改修、交換等を行うものとする。
- 2 車両完成後、受注者は新規登録(緊急指定含む)のための手続き等を行い、また、 それに係わる費用を受注者が負担及び代行し、当該検査を受けた後、関係書類を添え て納入すること。ただし、車両の新規登録にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責 任保険料、リサイクル料については当本部の負担とするため別途請求すること。

受注者は、当本部が指定する既存車両より、車載型移動局無線装置及び消防ナビゲ 3 ーション装置一式(以下「無線装置」という)を移設すること(無線装置についての 詳細は後述とする)。

なお、無線装置の設置等に係る一切の費用は受注者の負担とする。

#### 第6章 車 両

- 車両のシャシは、国家検定に合格した消防専用シャシとし、5.5トン増トンシャシ、 1 低床、四輪駆動、ABS付き、令和7年に製造されたものとする。
- この仕様において指定したもの以外の装備品等については、消防専用シャシとして メーカーが公表した標準取付品が装備されていること(安全装置等全て含む)。
- 3

3	主要	要諸元等	
	(1)	キャブ	消防用標準幅ダブルキャブ
			衝突回避安全装置付き、チルト装置は電動油圧式
	(2)	全 長	7,000 mm 以下
	(3)	全 幅	2, 350 mm 以下
	(4)	全 高	3,000 mm 以下
	(5)	車両総重量	11,000kg未満
	(6)	ホイルベース	3, 790 mm
	/ - \		NE (A 1/1/ / L - 2)

(6)	ホイルベース	3, 790  mm
(7)	エンジン	過給機付ディーゼル
(8)	総排気量	5, 120 cc 以上
(9)	最高出力	175kw 以上

(10) 操舵装置 パワーステアリング (11)トランスミッション オートトランスミッション

(12) オルタネーター 24V-100A 以上 (13)バッテリー 12V-100A 以上×2個

(点検が容易な天板付きボックス引き出し式)

(14) 乗車定員 5名(前席2名、後席3名) デジタル式 (15) 電流計・電圧計

(16) エアコン 当該車両に適応する純正品

> (冷暖房装置はダブルキャブに対応するものとし、 後部座席用に吹き出し口を設けること)

100 L以上(給油口付近に油種、容量表示) (17) 燃料タンク

(18) 動力取出し装置

フライホイルPTO

(19) タイヤ

ラジアルタイヤ 6本 (スペアタイヤ 2本)

型式 M888 (ブリヂストン製)

スタッドレスタイヤ 6本 型式 W900

ブリヂストン製とする

タイヤは何れも純正アルミホイール付き

納入時の装着タイヤは別途指示する

(20) その他付属品等

サイドマーカーランプ(前2、後2、上部2)

バックランプ左右 (ハイマウント上部左右)

オイルクーラー、サブラジエター

オイルパンヒーター(マグネット式、AC100V、

10m 電源コード付)

バッテリー充電兼用ずぼら充電器付き

電子ガバナー、キーレスエントリー (リモコン)

ナンバーフレーム・メッキ (前、後)

タイヤチェーン一式

バックトーク (双方向通話可)

ドライブレコーダー前後一式常時記憶型

カーナビゲーション (最新機種) パナソニック製

大型車用ブースターケーブル一式 (コード 5 m)

300A用

荷締用ラッシングベルト一式 (4本)

泥除け(全輪)

フロア用ゴムマット一式

ジャッキ・車両工具一式

予備鍵二組

#### 4 車両の基本構造(詳細別途協議)

(1) 艤装は総合的な重量軽減を徹底的に図り、車両の重量バランスを考慮し、安全 に消防活動が行えるよう製作すること。また、車両骨格は、アルミニウム合金等 の軽量化を図った主要材料を用い必要な部分には鋼材を使用して十分な強度を有 する構造とし、艤装材料は次のとおりとする。

ア 側板 I型1.6mm以上 II型2.0mm以上

イ サイドエプロン 1.2 mm以上

- ウ フェンダー 1.0 mm以上 エ ホース延長用資機材昇降用レール 4.5 mm以上
- (2) 骨組みは完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重を負担させないこと。また、坂道通過時の後部接触を避けるため、デパーチャーアングルを可能な限り大きくすること。
- (3) 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- (4) 車両上部及び各ステップ類は、アルミ縞板を使用すること。
- (5) 艤装に関わるボルト、ナット、蝶番類は、すべてステンレス製とすること。
- (6) 車両は箱型、オールシャッタータイプ、キャビンはハイルーフ、キャビン上部はアルミ縞板張りルーフデッキを設けること。キャビン後方にはポンプ室、その後部に水槽及び左右側は資器材積載庫とし、最後部はホース延長用資器材(電動アシスト付消防用加納式ホースカー、以下「ホースカー」という)を積載できる構造とすること。また、可能な限りデッドスペースをなくし多くの資器材を積載できるよう工夫すること。
- (7) ポンプ室及び資器材積載庫は、左右それぞれアルミ合金製シャッター扉を設け、シャッター扉は車両左右にそれぞれ2枚とし可能な限りデッドスペースをなくし 積載庫を設けること。また、車両最後部ホースカー積載庫にも同様のシャッター を設けること。ホースカー積載庫の上方は、別区画の資器材積載庫にすること。
- (8) 水槽容量は 1,500Lとし、水槽本体は角型で軽量かつ永年の使用に耐え得る材質を使用し水漏れや錆びが出ないものであること。
- (9) 燃料給油口は給油に際し容易な位置として、その付近に油種と容量を表示する こと。なお、燃料タンクは、消防活動や各種災害活動上に支障のない場所に設置 すること(別途協議)。
- (10) 強固な牽引フック (ステンレス製シャックル・耐荷重明記) を車両前部2箇所に設けること (詳細別途協議)。
- (11) サイドエプロン、キャビンステップの足掛かり等、車両塗装の剥がれ易い場所 には、ステンレス板又はアルミ板を取付けること。
- (12) 車両の骨格、側板及びステップ等の外縁は折り曲げ加工を施し、切断面は丸み をつけて点検整備の際に危険のないようにすること。
- (13) 車両両側下部は下蝶番式扉とし、扉内側はアルミ縞板を張りステップとして兼用できるもので、それぞれの扉にはロック装置を取付けること。また、リアフェンダー部も外側に開く足掛け用のステップとなる扉構造とし、内側にはアルミ縞

板を張り、扉にはロック装置を設け活動中の危険防止のため、後輪フェンダー部の兼用扉も含め、踏み板面は横一面フルフラット構造で、後輪フェンダー部はタイヤチェーンの脱着が容易に行えるよう広いスペースをとること。

なお、踏み台として使用する各扉の周囲三面には、シルバー色再帰性反射テープを貼り付け、同じく周囲三面には小型のLED赤色照明灯を埋め込み、扉開状態で点滅するようにしておくこと。

(14) 車両上部の左右外周は側板で嵩上げとするが、嵩上げ部はルーフデッキ高より 低くしたデザインで、車両全体の重量を考慮し必要最小限の高さとし、後部は斜 めラインとなるようにすること。

なお、嵩上げ部にはLED赤色点滅灯(LED赤色警光灯と連動)と作業灯を 左右それぞれ側面より突出しないように取付け、作業灯はやや下向きとすること。

- (15) 車両上部には、脱着可能な放水銃を設け、常時収納できる専用ボックス等を設置すること。
- (16) 車両上部左側には、後方から容易に操作できるバランスダンパー式の梯子昇降 装置を取付け、三連梯子(重量25kg前後のチタン製)を積載、その上部にかぎ 付梯子を積載し、人が乗れる強度を有したカバーを取り付けること。
- (17) キャビンとボディの間にとび口(柄長さ1.8 m)を2本取り付けることができる収納ボックスを設けること。
- (18) 車両上部には、大型アルミボックス(強固な取手付き)を設置すること。ボックス内は仕切り板で区画できる構造とし、扉はダンパー付きで、側面にバックボードを取り付け、夜間でも資機材の選別が可能な小型 LED 式の庫内灯を必要数取付けるよう艤装すること。なお、アルミボックスの高さは梯子昇降装置と同じ高さにし、車上の足場は残るよう工夫すること。
- (19) 車両上部には、前述の資器材等を設置艤装するが、水槽点検口を設けることと し車上足場はフラットで、資器材が設置されている状態でも容易に水槽点検がで きる構造とすること。
- (20) キャビン後方付近左右それぞれに、車上へ上るためのステンレス製の昇降用は しごを取付けること。また、車両最後部面には、格納式昇降用はしごを取付け、 何れにも滑り止めの加工等を施すこととし、車上にはステンレス製の取手を必要 数設けること。
- (21) ステップ、床等で水の滞留するおそれのある場所には、必要に応じて傾斜、溝または水抜き口等の加工を施すこと。
- (22) 車両左右後輪付近に保護枠付きの路肩灯を取付けること。スイッチはスモール 連動とするが別途に専用スイッチを設けること。

- (23) 泥除けを全輪に取付けること。
- (24) キャビン外部左右で操作し易く後席の乗降に支障のない位置に、それぞれ車輪 止め積載庫を設け大型の車輪止め(ゴム製、取手付き・黒色再帰性反射テープ付 き)を左右一組ずつ収納すること。なお、走行中に車輪止めが脱落しない構造とす ること。
- (25) キャビン運転席側にオイルパンヒーター用のメタルコンセントを取付けること。 なお、バッテリー充電器と兼用とすること。
- (26) 各シャッター及び各扉、ステップ等にはリミットスイッチを設け、キャビン内 で開閉状態が確認できるようにしておくこと。
- (27) 各操作部には、名称及び操作方法、操作順序等を明記すること。
- (28) 各積載庫、ポンプ室には活動上支障とならない位置に、それぞれ小型のLED 照明を埋め込みで取付け、別途専用スイッチを設けること。
- (29) 各積載庫は、資器材等が転倒、逸脱等しないよう固定装置、ベルト等を設けて おくこと。また、棚板、転倒防止板はステンレス製(パンチング)を適宜用いる こと。なお、資器材積載庫内部の棚板はレイアウトが変えられるよう工夫してお くこと。
- (30) 自衛噴霧装置を車両左右に各3個取付け、操作は車両それぞれ反対側に設けた 操作バルブ等によりできるものであること。また、水噴出部の外部突出は最小限 とし、配管は外観からは視認できないよう工夫すること。
- (31) 車両上部に伸縮式ポールタイプ照明灯(ウィレンPCP34-P DC24V 用)を1基取り付けること。
- (32) 車体前部に吹き流し用の旗立台を設けること。取付場所については別途指示するものとする。
- (33) ホースの結合用ネジ部の艤装材料は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令(平成25年総務省省令第23号)の規定に適合するものであること。
- 5 キャビン(詳細別途協議)
  - (1) 外観

アキャビンはハイルーフ仕様とする。

前方・左右から認識できるLED赤色警光灯を積載し、車両側方及び前方 一帯を照射できる配置であること。

イ キャビンルーフ上は重量物を積載しても十分に耐えられるアルミ縞板製のル ーフデッキを設置し、ルーフデッキに資器材固定用の強固なD環フックを8個 設けること。また、室内空間を広げるためキャブバックボックスとすること。

ウモーターサイレンをキャブ上部の適切な位置に取り付けること。

電子サイレン用スピーカーは、前方音量を確保しながら、車内側への音量を 削減できる構造のスピーカー等とすること。

- エ ルーフデッキ左右にはデジタル消防無線機のアンテナを設置し、無線機本体 に配線接続しておくこと (無線装置についての詳細は後述とする)。
- オ電動キャブチルト装置を設けること。
- カ 消防章 (150 mm) をフロントグリル中央部に強固に取付けること。 なお、シャシメーカーマークがある場合はマークを取り外し取付けること。
- キ フロントウィンドウ上下に窓拭き用の取手(下部 メッキ、上部 ステンレス)を取り付けること。
- ク フロントグリル、コーナーパネルはメッキとすること。パネル部をメッキに変更できる箇所はメッキとすること。
- ケ フロントバンパーは、上部に乗れる構造で、アルミ縞板を取付けること。 また、フロントバンパーサイドを延長しスポイラー付きとすること。
- コ フロントグリルに 5 個、フロントバンパーに 2 個 L E D 赤色点滅灯を取付け、 赤色警光灯と連動させておくこと。また、フロントグリル内に 2 箇所以上デイ ライト (青色)を設けること。なお、キャブチルトした場合に点滅灯がバンパ 一部に接触しないよう施工すること。
- サ 全ドアウィンドウ上部に大型サイドバイザー (ステンレス)を設けること。
- シ 全ドアグリップは、メッキタイプとすること。
- ス 左右前ドアのフェンダー蹴り込み部分ステップはグレーチングタイプとする こと。
- セ 各ドアには、ドア連動のLED式足元灯、側面には赤色LEDを設けること。 ただしバッテリーメインスイッチを介すること。足元灯、室内灯はバッテリー 直電源とする。
- ソ 前後席の乗降に必要な強固なステンレス製手摺りを両側に設けること。
- タ 後部座席乗降用ステップは2段式としグレーチングタイプとすること。
- チ 助手席側から左後方部を確認できる補助バックミラー (メッキ) を取付ける こと。
- ツ 両側後方視界ミラーは、ステイを含めメッキタイプの大型で、キャビン内リ モコン、ヒーター付き、電動格納式とすること。
- テ キャビン左側にはステンレス製の旗立て台を取り付け、取付け箇所の補強を 施すこと。

- ト キャビン運転席側にオイルパンヒーター用のメタルコンセント(防水キャップ・15m専用コード付き)を取付けること。なお、ヒーターはAC100Vを電源とし、配線及び結線部は露出しないようにするとともに、通電確認のランプを取付け、漏電及び防水対策を十分に施すこと(バッテリー充電器兼用とし、マグネット式とする)。
- ナ バッテリーは、キャビン左側後部ドア下部にシャーシフレームより補強した レール付格納装置(引き出し過ぎ防止措置をとること)とし、容易に点検でき、 固定及び解除できるロック装置を取り付け、乗降に支障とならないようにする こと。
- ニ キャビン右下部に小物資器材収納庫を設け、扉にはロック装置を設けること。
- ヌ 車両側面部、後面部に赤色再帰性反射テープを貼り付け視認性を良くすること。

#### (2) 室内

ア 座席は、前部2席、後部3席で長時間座っていても疲れにくく、耐久性のあるものとし、何れも座面クッションは厚めとすること。

なお、全ての座席には超防汚シートカバー(予備としてシート1セット加える)を取付け、運転席背もたれにはシートバックポケットを設けること。

イ 前席と後部座席の間にバス型の手摺り及びメッシュパネル (パンチング) を 設け、資器材を掛けられるようにすること。また、後席中央部前方に机兼用型 地図入れボックス (A3 対応・パンチング) を取付けること。

中間パイプ (クッションタイプ) には、着脱可能なS字フック (ビニールチューブ巻) を10個取付けること。

- ウ 後部座席は折り畳み式で、足元スペースが広く取れるよう台座は極力薄くすること。背もたれは上部固定式とし、上げた状態で予備ボンベ (3本) を収納できるものとする。
- エ 後部座席の空気呼吸器は後部座席後方上部に取付装置(クイックホルダー)を3基設置し、取付装置付近にメッシュパネル(パンチング)を取付けること。なお、空気呼吸器取付装置は取り外しが可能とし、互換性のある収納棚1個(4席中間2席に取付け可とする)を取付けられるようにすること。収納棚を取り外して使用する際には空気呼吸器取付装置を4基取り付け使用するものとする。

助手席はレスキューシートもしくはブレイブシート(飛鳥車体)とする。

- オ 後席後部壁にハンガーフック二股タイプを可動式で5個取付けること。
- カ 前席中央部分に、内部が区画できる集中コンソールボックスを設け、電子サ

イレン(パトライト SAP-520FCV)、10連スイッチ(大阪サイレン SBW-D1)及び当本部所有のデジタル消防無線機等を設置し、外部無線送 受話器、内部及び外部スピーカー、アンテナと配線接続しておくこと(無線装置についての詳細は後述とする)。また、前席中央下部足元にも脱着式の収納ボックスを設け、何れかのボックス内で、当本部所有のデジタル携帯無線器が充電できるよう電源を設けること。

- キ 助手席シート右側に(背もたれ右上付近)、拡声器が容易に脱着できる固定装置を設けること。
- ク 最新式カーナビゲーションシステムを、運転に支障のないダッシュボードに 埋め込み取付けること。
- ケ 前後一式常時記憶型のドライブレコーダーを設け、運転に支障のない位置に 設置すること。
- コ 助手席下部にDC・ACインバーター1,000W程度(外部供給電源自動 切換え式)を設置し、センターコンソール及び後部座席に100Vコンセントを各2個以上設け、コンセント直上に使用する電力及び電圧の銘板を取り付けること。
- サ キャビン室内を有効に照射できるよう、天井にLED灯を2個取付け、スイッチ2個を設けること。また、助手席及びセンターコンソールに(2箇所)LEDマップランプ(フレキシブル)を取付けること。
- シ 中央、後方部天井部分には、それぞれコンソールボックス(下部パンチング) を設け、ルーフネット(前後2個づつ)を取り付けること。
- ス全ドアパワーウィンドウとすること。
- セ 大型デジタル時計(GPS)を視認し易い位置に取付けること。
- ソ 助手席足元床の乗降時に支障とならない位置に、モーターサイレン足用スイッチ(オルガンペダル式)を取付けること。スイッチには誤操作を防止するカバーを設けるとするが、モーターサイレンを使用するときには、容易にカバーを外しスイッチが押せる構造であること。
- タ 天井部の内張りは、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造で永年の使 用に十分耐えられるものであること。
- チ 各装置の電装用スイッチパネルは、コンソールボックスタイプとし、操作が 容易に行えるよう設け、銘板を付すること。
- ツ 純正エアコンディショナーを設け、後部席用には専用の吹き出し口を設置すること。
- デ 前後席床面は、水濡れに十分耐えられ、また、滑りにくく工夫した構造とす

ること。前席床には防水用マットを設け、後席床はアルミ縞床(水抜き穴あり) とし水洗いが可能な仕様にすること (別途協議)。

- ト 各席には、乗降用の強固なインナーグリップ(ステンレス製)を取付けること。
- ナ 後部席の居住空間を最大限広げるための構造にすること。
- 二 助手席及びセンターコンソールにマッピングランプを設置すること。
- ヌ 助手席前ダッシュボードに脱着可能なホワイトボードを設置すること。
- ネ 助手席前ダッシュボード付近に電子サイレンと連動する出動予告スイッチ、 交差点進入スイッチを設けること。
- 6 資器材収納庫等(積載資器材等の詳細は別途指示、協議)
  - (1) ボディ形状は、箱型とし車体側面(左右2面)及び車体後部は(1面)全て(5面)シャッター方式とすること。なお、構造は次のとおりとすること。
    - ア シャッターはボディと同色でバーハンドル式 (大阪サイレン、バーシャッター33B型または同等品以上)とする。

アルミ合金製ローラー方式で耐久性・防水性を有し開閉が任意の位置で停止できる機能を有すること。

- イ 開閉ハンドルはロック機能付とすること。
- ウ シャッターの取り付けは、走行等の振動で歪んだりガタついたりしないよう に確実に行うこと。
- エ シャッター巻取り部分には、シャッター解放後の積載資器材の搬出・収納時、 資器材等でシャッターに傷をつけないようにパンチングメタルでカバーを製作 し保護処置を施すこと。また、パンチングメタル部に埋め込みのLED式庫内 灯を設けること。配線は、パンチングメタルの端を這わせて、S字フック等の 取付けに干渉しないように考慮すること。
- (2) 車体室上部の扉は、雨水等が侵入しない構造の蓋式とすること。
- (3) シャッター、積載庫は下記のとおり番号を付し、別途資器材を積載できるようにすること。なお、車体前部シャッター(前方)内はポンプ装置部とする。
  - ・左右側面 ポンプ装置部下収納庫 「積載庫① (左)、積載庫⑧ (右)」
  - ・左側面 車体後部シャッター 前方 「積載庫②-1」
  - ・左側面 車体後部シャッター 後方 「積載庫②-2」
  - ・右側面 車体後部シャッター 前方 「積載庫③-1」
  - ・右側面 車体後部シャッター 後方 「積載庫③-2」
  - 後 面 車体後部上部積載庫 「積載庫④」

・後 面 車体後部シャッター 「積載庫⑤」

・車両上部 右側 「積載庫⑥ (つづら箱)」

・右側面 キャビン右下積載庫 「収納庫⑦」

#### (4) 資器材収納棚等

ア 各収納庫に資器材固定具又は棚等を設け、機能的かつ体裁よく資器材を積載 すること。

- イ ボディと同色のアルミ合金製シャッター扉(大阪サイレン バーシャッター 33B型)を設けること。
- ウ 各棚に積載資器材を固定する脱着が容易な固定装置(固定器具又はマジック バンド等)を設けること(別途協議)。
- エ 各棚に取り外し可能な樹脂製スノコ板、またはクッションゴム等を敷き資器 材の保護を図ること。
- オ 各棚の段ごとに水抜き穴を2つ設け、最下段はパイプ又はホースを接続車体 下方まで延長すること。
- カ 積載庫①及び積載庫⑧は下方に展開する下蝶番式扉を設け、扉内側にはアルミ縞板張り、周囲三面はシルバー色再帰性反射テープを張り、同じく周囲三面には小型のLED赤色照明灯を埋め込み扉開放で点灯する構造とすること。

管そう及び65mmホース2本を積載できるようにし、ホースの取出しが容易にできるようにすること。

キ 積載庫②-1および積載庫③-1は、高さ調節可能な可動式積載棚を設けること。

積載庫③-1の積載棚の前部に仕切りを設け、上部にロープ、スリングロープが掛けられるようポール (Sフック6個付) 等を取付け、壁面はパンチングとすること。また、消火器を収納する場所を確保すること。

積載庫②-1の積載棚の前部に仕切りを設け、スタンドパイプ、資機材搬送 バック、低水位ストレーナー等を収納できるようにすること。消火栓開閉金具 は使用しやすい位置に積載すること。

積載庫②-1の積載棚は3段とし、上段、中段にはフォグガン及び40 mm ホース2本等を積載、下段にはホースバック(50 mm収納)を積載する。

積載庫③-1の積載棚は3段とし、上段、中段にはトランスフォーマーピア シングノズル等を積載、下段にはホースバック (50mm収納)を積載する。

ク 積載庫②-2は高さ調節可能な可動式収棚を3段設けること。

最下段には資機材が取り出しやすいよう工夫をし、下方に展開する扉を設けること。扉内側にはアルミ縞板を貼り、周囲三面はシルバー色再帰性反射テー

プを貼り、同じく周囲三面には小型のLED赤色照明灯を埋め込み、扉開放で 点灯する構造とすること。積載資器材は送排煙機、コードリールとする。

上段には100Vのコンセント (コンセント直上に使用する電力及び電圧の 銘板を取り付けること)を設けること。積載資器材はコンビツール、充電器 (充 電器は積載した状態で充電可能)、チェーンソー、チルホール一式 (本体、チル ワイヤ、ハンドル、シャックル等)とすること。なお、後面車体後部上部積載 庫「積載庫④」からも取り出しができるようにすること。

中段は照明器具一式[照明器具(コード、収納袋含む)、発電機、燃料缶]が積載できるようにすること。

ケ 積載庫③-2は固定式収棚を4段設け、収納可能なアルミボックスを設置すること。

最下段には資機材が取り出しやすいよう工夫をし、下方に展開する扉を設けること。扉内側にはアルミ縞板を貼り、周囲三面はシルバー色再帰性反射テープを貼り、同じく周囲三面には小型のLED赤色照明灯を埋め込み、扉開放で点灯する構造とすること。積載資器材はパワーカッターとする。

最上段には引き出し式のアルミボックスを設け、アルミボックス内にはエアフォームノズル、スコップ、掛矢、斧等を収納する。また、同段にホースブリッジが収納できるようにすること。なお、後面車体後部上部積載庫「積載庫④」からも取り出しができるようにすること。

上段2段目のアルミボックス内にはボルトクリッパー、活性ケーブルカッタ 一等を収納する。

上段3段目もアルミボックスを設けられる棚とすること。

- コ 積載庫④は上方に展開する跳ね上げ式の下蝶番式扉を設け、予備ホース (6 5 mmホース 5 本) を積載、取り出しが容易にできるようにすること。天井部 には釣り状の棚を設け、毛布、ブルーシート等を収納できるようにすること。
- サ 積載庫⑤はシャッター扉とし、積載庫内にはホースカー(栃木市消防本部仕様、電動アシスト付消防用ホースカー(加納式)、65mmホース8本収納)を消防活動で有効に使用できるよう積載すること。また、ホースカー昇降装置(電動油圧式・非常時手動操作装置付)を設置すること。またホースカー収納スペース奥にホースバック、消火薬剤が取り出せるよう収納棚を設けること。
- シ 積載庫⑥はアルミ縞鋼板で長方形状の脱着式ボックスとし、蝶番で開閉可能 な天板を設けること。設置位置は車両上部の右側寄りとすること。また、ボッ クス内は仕切り板で区画できる構造とし、LED式庫内灯を設け、扉はダンパ ー付きとすること。ボックス内にバックボードを取付けられるよう艤装するこ

と。

扉内側は資器材固定のためのフラッシングベルト (ワンタッチバックル式) を2本取り付けること (寸法等、別途協議)。

収納資器材は吹き流し(ポール)、放水銃の付属品、背負い式消火器具5個等とする。

- ス 積載庫⑦は輪留め、工具類が積載できるようにすること。
- セ 各資器材の収納にあっては、寸法を可能な限り拡大し、資器材の固定位置・ 固定方法を十分に協議し、かつ車両の左右バランスが概ね均等になるように配 慮し、設計図等により当本部の承認を得た後に艤装すること。
- (5) ポンプ操作部(左右)

キャビン後方車両左右に、ポンプ操作部を設け次のとおりとすること。

- ア 操作がし易い配列で放水口を左右2口、中継口・吸水口を左右各1口・各操 作バルブ等を設置すること。
- イ 使用し易い位置に外部無線送受話器用ボックス及び外部スピーカー専用ボックスを設け、防水機能を有した無線送受話器及びスピーカーを設置しキャビン内デジタル消防無線機に配線接続しておくこと。

外部スピーカーは、パンチングプレートのボックス等により、本体を外部に 露出しない構造とすること。

また、左右ボックス内に電子サイレンアンプにつながる専用マイクを設置すること。

ウ 吸管は、両側共このポンプ操作部に収納させ、固定装置を設けポンプ運用吸 水等に際し、支障のないようにしておくこと。

#### 7 電装品

(1) キャビン上部に、ハイルーフ埋め込み式LED赤色警光灯(電子サイレンスピーカー、標識灯含む)、モーターサイレンを設け、キャビン内電子サイレン及び10連スイッチに配し、電子サイレン及び10連スイッチの電源は車両ACCと連動させておくこと。

なお、電子サイレンのサイレン音は単独鳴動とし(警鐘音同時鳴動不用)、他音 声については別途指示協議とする。

- (2) ハイルーフ側面左右に標識灯(文字記入後述)を埋め込み、LED赤色警告灯 スイッチに連動させること。
- (3) ハイルーフ側面左右の標識灯後方に、赤色警告灯(ウィレン M<sup>-</sup>6 F C R 24) を埋め込み、LED赤色警告灯スイッチに連動させること。

- (4) フロントグリルに赤色警光灯を左右2個ずつ、中央下に1個埋め込み、(グリル上段部に埋め込み、突出しないこと)、LED赤色警光灯スイッチと連動させ10 連スイッチに配線すること。
- (5) フロントバンパー下部のスポイラー左右に赤色警光灯を埋め込み、LED赤色 警光灯スイッチと連動させること。
- (6) 車両側面嵩上げ部に、赤色警光灯を左右各2個取付け、LED赤色警光灯スイッチと連動させること。車両側面嵩上げ部に作業灯を左右各3個やや下向きで取付け、キャビン内10連スイッチに配線すること。

なお、車両左右には防水対策を施した当該作業灯のON・OFFスイッチを保 護枠付きで設けること。

- (7) 上記(4)の赤色警光灯、作業灯の配列は、左右共に前方部から作業灯、赤色 点滅灯の順にバランスよく交互に配列し、設置すること。
- (8) 車両後部面の上方左右に一体型の赤色警光灯作業灯(それぞれのスイッチ付) を左右各1個取付け、LED赤色警光灯スイッチと連動させ10連スイッチに配 線すること。なお、車両後部には防水対策を施した、当該作業灯のON・OFF スイッチを保護枠付きで設けること。
- (9) 車両上部 (3箇所)の適する位置にLED足元照明灯を埋め込みで設け、スイッチはキャビン外部左右にそれぞれ設けること (スイッチはキャビン内メインスイッチオンで有効とする)。なお、何れも防水対策を施しスイッチには保護枠を設けること。
- (10) 各シャッター、扉、ステップ、積載庫内、ポンプ室等にはリミットスイッを 設け、また、それぞれ内部を有効に照射するLED照明灯を必要数埋め込みで設 置すること。なお、各シャッター等開閉時は、その状態が確認できるよう10連 スイッチに配線し、また、LED照明灯各シャッター等の開状態で点滅するよう にしておくこと。

車両側面のステップとなる各扉の周囲三面には、小型のLED赤色照明灯を埋め込みで設け、扉開状態で点灯するようLED赤色警光灯スイッチと連動させること。

- (11) モーターサイレンスイッチは、手動押しボタン式としキャビン内に設け、また、助手席床には操作し易い適切な位置に足用スイッチを増設し、誤操作防止のカバー等を設置すること。なお、電子サイレン音鳴動時に同時操作した場合互いに消音しない構造とすること。
- (12) サイレンアンプには、専用マイクを1個取付け、また、後部席でも使用できる よう専用マイクを1個増設すること。

- (13) 電気機器は、雑音防止を施すとともに、スイッチ類で必要と思われるもの及び モーターサイレンにはリレーを設けること。
- (14) 電気機器及び各種灯火類の配線は、外部に露出しないようにし、車両のメイン スイッチを切ったとき、全て閉路となること。また、ヒューズボックスを増設し、 取付け機器は全てヒューズを通すこと。
- (15) 車両各部へ貫通する配線、また車両へ設置する警光灯、点滅灯、照明類やその 構成品、電装関係品については、永年の使用に十分耐えられるよう防水対策等を 確実に施し、配線関係は外部から目立たないようにすること。
- (16) 車両バッテリーが常時最適な状態で保たれるよう、専用の充電装置等(ずぼら充電器)を設け充電状態を視認できる構造とすること。
- (17) テールランプを標準仕様からリアコンビネーションランプ (2連タイプ、レッドVer、K0ITO) に変更、設けること。また、上部にはハイマウントストップランプを設けること (別途協議)。
- (18) 左右キャビン付近に外部コンセント(100V 防水カバー)を設置すること。
- (19) ドライブレコーダー最新型(8時間以上録画可能タイプ及びフロント、リア撮影可能のもの)を取り付けること。

#### 8 無線装置

- (1) 無線装置一式を当本部が指定する既存車両から移設すること(指定業者あり)。 移設にあっては、事前に当本部と十分協議を実施すること。なお、取付金具は、 メーカー純正金具を使用し、ハンドセット、アンテナ等は新品を取付けること。
- (2) 無線装置の設置場所は事前に発注者と十分協議を実施し、当本部の指示する位置に設置すること。
- (3) 無線装置のアンテナはキャビン側面等に台座等を設け、地上からアンテナ先端まで3,500mm以内とするように設置すること。なお、3,500mmを超過する場合はアンテナ基台をすべて電動可動式とし、倒したときに3,500mm以内となる仕様とし、立位時はLEDランプ等で運転席及び外部から確認できるようにすること。

なお、設置に関する一切の費用は受注者の負担とする。

#### 9 消防ナビゲーション

(1) AVM端末装置を旧車両から移設し、運転席から操作しやすい場所に取り付けること(指定業者あり)。なお、移設に係わるすべての費用は「乙」が負担すること。

- (2) 各配線については、内張りの中に収納すること。
- (3) AVM 取付け台にモニターを取り付けること。

#### 第7章 ポンプ装置等

- 1 ポンプの性能及び構造
  - (1) 主ポンプは、国検A-2級以上で車両総重量を軽減するため高圧1段ボリュートポンプとし、次の放水性能を有すること。

規格放水圧力(0.85Mpaで毎分2,000L以上) 高圧放水圧力(1.40Mpaで毎分1,400L以上)

- (2) 主ポンプ材質は軽量かつ環境リサイクル率の高いアルミ製とし、内部は耐防錆 耐防食に努め、特にインペラーはBC製とし強度を高めること。
- (3) 主ポンプグランド部はメカニカルシールとし、メンテナンスフリーとすること。 また、メカニカルシール内は、水ポンプの空運転に対応できるようにし耐久性を 高めること。主ポンプメタル部もグリース補充は一切不要な構造とすること。
- (4) ポンプシャフトは連続運転下でも破断しにくい対策品とすること。

#### 2 真空ポンプ

(1) 真空ポンプは、ロータリー式またはピストン式若しくはエゼクター式とし軽量かつ丈夫で永年の使用に耐えられる素材を使用し、真空ポンプ内に大量の水が流入しても支障のない構造とすること。

なお、真空性能は30秒で700mmHg 以上の高真空度を得ることができる真空ポンプとすること。

- (2) クラッチは、電磁クラッチによる構造とし、スムーズな伝達が行なえること。
- (3) 操作は、押しボタン式スイッチによるものとし、駆動装置が円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。
- (4) ポンプに関して付属の装置等がある場合は、操作に支障のないよう全て艤装すること。

#### 3 吸水装置

吸水装置の能力は、吸水量 1.0 m 3/m i n (吸水高 3 m) のとき、バルブを全開にしても落水せず、6 0 秒以内に揚水を完了するものとすること。

#### 4 自動揚水装置

起動装置は、車両左右に設けた操作ボタン等により作動できるものとし、ボタンを

押すことにより自動的に真空ポンプの回転数を適正回転まで引き上げ、揚水完了とと もにクラッチが切れ、回転数を自動的に低速に落とす方式とすること

また、非常時には別回路で作動できる非常用スイッチを設けること。

- 5 ポンプ集中操作盤及び計器類(車両左右ポンプ操作部)
  - (1) 圧力計・連成計(リタード式)は針振れがない構造とすること。
  - (2) ポンプスロットルは電子式とし、車両左右どちら側でも同方向に回転すること によりエンジン回転速度を調整できるものとすること。また、誤作動を防止する ための安全ロック機能付自動調圧装置を設けること。
  - (3) 操作盤は、艤装メーカー固有液晶ディスプレイとし、左右どちら側からでも確認でき、各表示の切り替えはボタン式(手袋装着時でも使用可)で、昼夜を問わず認識し易く調光機能等を有し、ポンプ機関運用、放水、揚水操作等に関しての操作が全て可能であり、その確認(水槽水の残量)及び非常時の警報装置(水量確認含む全て・警報音はブザー音)を備えたもので、シャシ情報に関しても操作盤にて燃料系、水温計、煤堆積量が確認できるものであること。また、安全かつ容易な操作で寒冷地でも十分に使用できるものであること。
  - (4) 取扱説明等の表示ができるものであること。

#### 6 吸水口、放水口、中継口

(1) 吸水口は、75 mmボールコック (ストレーナー及びスイベルエルボー付き)とし、左右ポンプ室に各1個設け軽量ソフト吸管 (75 mm×10 m)を常時接続すること。吸管はポンプ操作部常時巻取りとする。

なお、吸管先端には消火栓金具を取付け、藤かごはワンタッチでの脱着式とし、 控え綱を取付けること。

- (2) 各吸水口には、エゼクターバルブを設け、左右の吸管から連続吸水可能な構造とすること。
- (3) 吸水用パイプ等の排水が完全に行える構造とし、排水パイプは車体下部まで延長すること。
- (4) 放水口は、ボールコックとし、左右ポンプ装置部中央付近に各2口設けること。 なお、65mm/50mm が兼用できるマルチ型とすること。 また、車両上部には放水銃を設置し、放水できるようにすること。
- (5) 中継口は、65mmボールコック(ストレーナー付き)とし、左右ポンプ室に各1個設け、65mm 差込式メス金具を取付けること。

#### 7 冷却装置

- (1) 冷却装置は水冷式とし、その構造及び内容については省令等に適合するものとする。
- (2) 配管については、ギヤケース、補助クーラーの配管を一系統にまとめ、1個の バルブで操作が行えること。なお、予備回路を設けること。

#### 8 その他

- (1) 凍結防止用として不凍液を主ポンプ及び止水弁に注入できる不凍液注入装置を 設けること。
- (2) 排水用ドレンを必要箇所に設けること。
- (3) ポンプに関するものは最新式の構造、部品を用いること。

#### 第8章 水槽

- 1 水槽の艤装材料は、次による厚さの鋼材(JISG3101)又はこれと同等以上 の強度を有するものであること。
  - (1) 側板 4.0 mm以上
  - (2) 底部 6.0 mm以上
  - (3) 上部 4.5 mm以上。ただし、上部を通過するものにあってはしま鋼板であること。
- 2 容量は1,500Lとし、水槽内部には有効な防波板を設け、防食加工を施し容易 に点検及び清掃出来る構造とすること。また、振動、衝撃、水圧錆により変形水漏れ 等が無いものであること。
- 3 車両左右に積水口(水槽補水口)を設け、65mmボールコックとし、65mm差 込式メス金具を取付け、配管部ドレン及びタンク停止弁(YONE製)ならびに水槽水取 出口を設けること(水道水補水キャップ付属1個)。また、水槽への送水圧力(送水時 の限界圧力)を表示すること。
- 4 タンク吸水用ボールコック及び送水用ボールコックを設け、連結する操作レバーを 車両両側に設けること。
- 5 水量計は、水管浮子式(100L単位カラー目盛付)及び電子式の2系統とし、それぞれ両側ポンプ室(電子式はポンプ集中操作盤内)に設けること。

- 6 水槽上部には、オーバーフローパイプ及びマンホールを設け、下部にはドレンバル ブを設けること。
- 7 車両上部は、水槽面を含め、フラットに仕上げると共に、車上アルミボックスや資 器材等を設置した場合でも容易に水槽点検ができるようにしておくこと。
- 8 ポンプによる自己補給が可能であり、ポンプへの補給口並びに排水口が設けられ、 配管には緩衝装置を施していること。
- 9 配管部を含め凍結防止対策、またはその対策等が実施できるよう施工しておくこと。
- 10 放水、泡放射、吸水、ポンプ運用等に関し必要な装備品は全て最新式のものとし、 消防活動上支障のないよう全て艤装しておくこと。また疑義等が生じた場合は別途協 議とする。

#### 第9章 ホースカー及び動力昇降装置(詳細は別途指示、協議)

- 1 車両最後部に専用の積載庫を設けホースカーを積載すること。
  - (1) ホースカーは、電動アシスト機能付き消防用加納式ホースカーとすること。
  - (2) ホースカーは栃木市消防本部仕様とし、 $65 \,\mathrm{mm}$ ホースを8本以上積載できること。ホースカー左側面に、マルチ式二又分岐管(ヨネ WB $-65 \,\mathrm{MC}$ ) 1 個・媒介金具(同径媒介) $65 \,\mathrm{mm}$ オス・オス、 $65 \,\mathrm{mm}$ メス・メス各1 個及び小とび1 個を取り付け、右側面に無反動管そう(ヨネ PL $-65 \,\mathrm{A}$ )2 個、照明用器具を設置すること。
  - (3) ホースカーは赤色とし有効な面に反射テープが貼付されていること。
  - (4) ホースカー上部の天板は取り外し可能なものであるとともに、重量物を載せて も重さに耐えることができ、あおり等を設け物が落ちないような構造にすること。
  - (5) ホースカー取付け部以外の床面については、ステップ兼用の密閉構造とし、資 器材の落下及び塵等入らない構造とすること。
  - (6) ホースカー内部にはホースの補充がすぐさま行えるよう、2分割カートリッジ 式とすること。カートリッジ内に積載しているホースは結合している状態で収納 が可能で、ホース延長時支障がないようにすること。

カートリッジは予備も含めて4個製作すること。

(7) 電動アシスト装置のバッテリーは車両または外部から充電できる構造とし、充

電用コンセントは容易に着脱可能で、充電状態が視認できるようにすること。 なお、外部電源入力中のみ電力が供給できるようにすること。

- 2 ホースカー昇降装置は以下のとおりとすること。
  - (1) ホースカー昇降装置は、電動油圧式動力昇降装置とし、傾斜地においても操作 に支障がなく振動等にも対応した構造とすること。また、安全かつ、容易に操作 できるものとし、ホースカーの取り外しも容易に行える構造とすること。

昇降装置故障時には手動で昇降可能な非常装置を設けること。

- (2) 昇降装置操作部は、車両後面シャッター内に設けること。
- (3) ホースカーの収納状態がキャビン内で確認できるようリミットスイッチを設け、 10連スイッチに表示しておくこと。
- (4) 夜間の昇降操作時のための小型LED照明灯を積載庫内に設置し、スイッチは 車両後面シャッター内に設けておくこと。

#### 第11章 塗装及び表記文字等

#### 1 塗装

- (1) さび止め塗装はさび落としを実施後に行うこと。
- (2) メッキ部分にさび止め剤を塗布すること。
- (3) 車体塗装はさび落としを完全に行い、素地面から滑らかに磨き、脱脂処理後完 全乾燥させてから赤色ウレタン塗装にて3度以上吹き付けを行い、磨き上げ及び 表面処理コートを十分に施工することで長期に耐え備える仕上げとすること。
- (4) 車体下回りは黒色とし、防錆加工を施すこと。
- (5) キャブ床等の裏側は、防音処理部分を除き、アンダーコーティング及び防錆加工を施すこと。
- (6) その他収納庫内等の塗装が必要な部分については協議のうえ施工すること。

#### 2 メッキ部品

メーカー純正品を取り付けること。また、腐食や防錆のため、メッキ用防錆剤等を施すこと。

#### 3 表示文字等

文字等の表示は、耐候性に優れたカッティングシートにより、洗車等で容易にはがれないように施工すること。反射加工の必要位置については、受注後に別途協議すること。なお、シートを貼付できない箇所は塗装等により施工すること。

- (1) 標識灯 (フレームをメッキで)
  - ア 表示文字:「西方分署」
  - イ 書体:丸ゴシック
  - ウ 文字色:黒色
- (2) 車体側面ドア及び車両最後部積載庫シャッター
  - ア 表示文字:「栃木市消防本部」
  - イ 書体:丸ゴシック
  - ウ 文字色:白色
- (3) 車両前後
  - ア 表示文字:「西方タンク」
  - イ 書体:丸ゴシック
  - ウ 文字色:白色
- (4) 対空表示
  - ア キャビン上部
    - (ア) 表示文字:「栃T5」
    - (イ) 書体:丸ゴシック
    - (ウ) 文字色:別途指示
  - イ 車体上部大型アルミボックス
    - (ア) 表示文字:「栃木県」
    - (イ) 書体: 丸ゴシック
    - (ウ) 文字色:別途指示
- (5) 資器材収納庫ボックスシャッター アルミシャッター部に当本部が指示する文字及び図柄等を記入すること。
- (6) その他
  - ア 文字サイズ、表示位置等については別途協議すること。
  - イ 納入後、協議の上、旧車両の外装に表示してある名称及びマーク等を全て消 去すること。

#### 4 その他

- (1) 当本部が指示する箇所に再帰性に富んだ反射材及び指定のデザインを貼付すること (別途協議)。
- (2) サンプルが完成後、データ、写真等により当本部へ連絡すること。

#### 第12章 取付品及び付属品、資器材

- 1 取付品及び付属品、資器材一式は、別表のとおりとする。 なお、別表で指示するものの他に、規格上必要なものは全て付属すること。
- 2 取付品及び付属品のうち、必要なもの及び別に指示するものは、現物合わせにより 固定金具等を設けること。
- 3 すべての操作部及びスイッチには、名称ラベルを容易に剥がれないように貼付すること。
- 4 取付品及び付属品の積載場所等詳細は、別途指示、協議する。
- 5 65 mmホースを30本積載すること。
- 6 所属シール (栃木市消防署西方分署) 大、小 50枚ずつ用意すること。

## 【取付品·取付装置】

No.	品名	型式・規格	数量
1	シャシ		
2	標準艤装		1式

## 【取付品·取付装置】

No.	品名	型式・規格	数量
1	ポンプ圧力計	電子式	2個
	ポンプ連成計	電子式	2個
	真空計	液晶パネル内蔵型(左右)	1式
	ポンプ回転計	液晶パネル内蔵型(左右)	1式
	流量計		4個
	積算流量計		2個
	エンジン回転計		1式
	エンジン油温計		1式
	赤色警光灯	大阪サイレン MRA-B310	1式
	電子サイレンアンプ	パトライト SAP-520FCV	1式
	照明灯	PCP34-P ウィレン	1式
	後退警報器		1式
	表示灯		1式
	放水銃	クロスファイヤー放水銃 マックスフォースノズル モニター本体 ポータブルベース ポータブルベース収納ブラケット スムースノズル 伸縮パイプ 450 mm (オプション仕様)	1式
	空気呼吸器取付装置	クイックフォルダー (脱着可能)	4式
	電動 (モーター) サイレン		1式
	タンク停止弁	YY-65 ヨネ	
	キャブチルト装置		1式
	オイルパンヒーター	防水コード付き (マグネット型)	1式
	不凍液注入装置	2系統	1式
	赤色点滅灯	(前面)ウィレン 赤 WIONSMC24× 7 青× 2	

	(側面)ウィレン	
	赤 M6FC24×6 (片側3ずつ)	
	白 M6BUWC24×3	
	(背面)ウィレン	
	$\texttt{M9V2CR24} \times 2$	
反射板	再帰性に富んだもの	1式
ポンプ室内灯	左右ポンプ計器灯(LED 仕様)	2個
車外無線送受話器取出口	左右側面 スピーカー付き	2個
自衛噴霧装置	左右側面各3か所	6個
ステップ灯	防滴型カバー付き LED 仕様	4個
フェンダー内灯	防滴型カバー付き LED 仕様	
シートカバー	全席ビニールレザー製 +予備用	1式
GPSナビゲーション	フルセグ	1式
スタットレスタイヤ	アルミホイール付き(ブリヂストン製)	6本
サイドバイザー	ステンレス製	1式
バックトーク	双方向タイプ	1式
助手席用補助ミラー	メッキ製	1式
消防用無線装置移設		
車両運用端末装置移設		

## 【付属品】

No.	品名	型式・規格	数量
	吸管	LF-RS(長さ 10m以上)	2本
	吸口ストレーナー		2個
	四年かり 14年	ストカゴセット(ヒッパラ―媒介・フッ	2個
	吸管ちりよけ籠	ク付きロープ付)	△1回
	吸管ロープ		2本
	吸管枕木	ゴム製	2個
	※ ↓ ↓ ↑ △ 目	75 mmメスネジ×65 mm差込メス	9 /H
	消火栓金具	ロープ引上げ式 ヨネ	2個
	中継口媒介金具	65 mmメスネジ×65 mm差込メス	
	※ ¼ ¼ № 目目 & 目	T字キー	2個
	消火栓開閉金具	大箱回し 万能バール FH バール ヨネ	1本
	吸管スパナ		2個
	低水位ストレーナー	クイックストレーナー	1個
	管そう	YONE 社	

	無反動管鎗 PL-65Ă	
	(ノズルセットキット・レンチ付き)	4本
	クールファイターノズルピストングリッ	_ ,
	プモデル NV-50CFP	5本
	クワドラフォグノズル NH-40QF ヨネ	2本
	YONE 社	,
	クールファイターノズル NV-65CF	2個
	ダブコンブーストノズル NV-50W・BTP	2個
	ダブコンブーストノズル NV-65W・BT	2個
ノズル	LX フォームジェット FN-65LX	1個
	MX フォームジェット FN-65MX	1個
	トランスフォーマーピアシングノズル	1式
	TFP-40	
	スムースノズル (20、23、26mm)	各1個
ラインプロポーショナー	FP-65·400	1個
放口媒介金具	マルチコネクト	4個
とびロ	長(柄グラスファイバー製)1.8m	2本
C 0.H	短(柄グラスファイバー製) 1.0m	2本
金てこ	長さ850cm	1本
防爆剣先スコップ	AMCS-83G	1本
なた	片刃 ケース付き トヨクニ製	1本
のこぎり	折り畳み式 シルキー製	1本
防爆型斧	スナップオン Ampco AMCA-15FG	1本
掛矢		1本
防爆型 大ハンマー	EA 642KL-4.5	1個
活線ケーブルカッター	ZCC0201	1 基
活線ボルトクリッパー	ZBC600	1 基
携帯拡声器	TS-633R	1個
三連梯子	チタン製(引き綱表引き)	1 基
かぎ付き梯子	チタン製 KHFL-CT31	1 基
車輪止め	ゴム製 (オレンジ反射テープ付き)	4個
消火器	自動車用 (ABC 粉末 6Kg) 20 型	1本
ポンプ工具	ポンプメーカー純正品	1式
	65 mm×20m	30本
ホース	50 mm×20m (アラミドホース)	20本
	$40 \text{ mm} \times 20 \text{m}$	10本

ライフゼム A1-12       5基         栃木市消防本部仕様       1 0 f         CX 面体       1 0 f         面体収納袋       1 0 f         携帯警報器 スーパーパス II       5 個         面体用力バーグラス F2 5 枚 1 組       1 0 f         面体用量止液 10g       1 0 f         ブルネッカー730C III       1 0 f         上下保護カバー付       2 0 f         ボンベキャップ       1 0 f         分岐管 (二又分岐)       MC 分岐ボールバルブ         ホースブリッジ       大阪サイレン CB-450・反射テープ付き       1 組         放来コ KS9302B 収納袋付き       コード収納はリールタイプでないもの         発電機       EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)       1 基         三脚       1 本         スタンドパイプ       安全型スタントパイプ 不動 800       1 本
空気呼吸器面体収納袋 携帯警報器 スーパーパス II 面体用カバーグラス F2 5 枚 1 組 面体用鼻止液 10g ブルネッカー730C III 上下保護カバー付 ボンベキャップ カウ( フリッジ 大阪サイレン CB-450・反射テープ付き カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1 の付 発電機 EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)空気ボンベ 上下保護カバー付 ボンベキャップ 1 の付 大阪サイレン CB-450・反射テープ付き コード収納はリールタイプでないもの 1 基 1 本1 式 2 回 2 回 2 回 2 回 3 中 3 中 3 に関係金具付き) 3 日本
携帯警報器スーパーパス II5個面体用カバーグラス F2 5 枚 1 組1 0 付面体用量止液10g1 0 付ブルネッカー730C III1 0 付上下保護カバー付2 0 付ボンベキャップ1 0 付分岐管 (二又分岐)MC 分岐ボールバルブ2 個ホースブリッジ大阪サイレン CB-450・反射テープ付き1 組照明器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1 式発電機EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)1 基三脚1 本
面体用カバーグラス F2 5 枚 1 組1 0 付面体用曇止液 10g1 0 付ブルネッカー730CIII1 0 付上下保護カバー付2 0 付ボンベキャップ1 0 付分岐管 (二又分岐)MC 分岐ボールバルブホースブリッジ大阪サイレン CB-450・反射テープ付き取明器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの発電機EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)三脚1 基
面体用曇止液 10g       1 0 f         ブルネッカー730cⅢ       1 0 f         空気ボンベ       上下保護カバー付       2 0 f         がンベキャップ       1 0 f         分岐管 (二又分岐)       MC 分岐ボールバルブ       2 f         ホースブリッジ       大阪サイレン CB-450・反射テープ付き       1 f         照明器具       カネコ KS9302B 収納袋付き       コード収納はリールタイプでないもの         発電機       EU 9 f       ホンダ (発信機金具付き)       1 基         三脚       1 本
で気ボンベ       上下保護カバー付       1 0 7         上下保護カバー付       2 0 6         ボンベキャップ       1 0 6         分岐管 (二又分岐)       MC 分岐ボールバルブ       2 個         ホースブリッジ       大阪サイレン CB-450・反射テープ付き       1 組         期間器具       カネコ KS9302B 収納袋付き       コード収納はリールタイプでないもの         発電機       EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)       1 基         三脚       1 本
空気ボンベ上下保護カバー付 ボンベキャップ20イ 10月分岐管 (二又分岐)MC 分岐ボールバルブ2個ホースブリッジ大阪サイレン CB-450・反射テープ付き1組照明器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1式発電機EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)1基三脚1本
ボンベキャップ10イ分岐管 (二又分岐)MC 分岐ボールバルブ2個ホースブリッジ大阪サイレン CB-450・反射テープ付き1組期間器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1式発電機EU 9 I ホンダ (発信機金具付き)1基三脚1本
分岐管 (二又分岐)MC 分岐ボールバルブ2個ホースブリッジ大阪サイレン CB-450・反射テープ付き1組照明器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1式発電機EU9 I ホンダ (発信機金具付き)1基三脚1本
ホースブリッジ       大阪サイレン CB-450・反射テープ付き       1組         カネコ KS9302B 収納袋付き       コード収納はリールタイプでないもの         発電機       EU9 I ホンダ (発信機金具付き)       1基         三脚       1本
照明器具カネコ KS9302B 収納袋付き コード収納はリールタイプでないもの1式発電機EU9 I ホンダ (発信機金具付き)1基三脚1本
照明器具     コード収納はリールタイプでないもの       発電機     EU9 I ホンダ (発信機金具付き)     1 基       三脚     1 本
コード収納はリールタイプでないもの         発電機       EU 9 i ホンダ (発信機金具付き)       1 基         三脚       1 本
三脚 1本
スタンドパイプ 安全型スタントパイプ 不動 800 1本
,
65 mmオスオス・65 mmメスメス
媒介金具   65 mmメス 50 mmオス・65 mmメス 40 mmオス   各 1 f
50 mmメス 40 mmオス
吸口エルボ スーパースイング ヨネ 2個
ライトアップコーン ジャバラ式、LED内蔵型 4個
万能斧         トップマン         2個
車両整備工具 車両付属品及びFS 消防車両工具セット (FS ジャパン) FSPC-58
ホース漏水バンド 5個
フロアマット 車両メーカー純正品 1式
E-carry01 (モリタ製) 栃木市消防仕様
加納式ホースカー ホースボックス (2 個 1 組) 3 組 1 台
赤色
チェーンソー     マキタ MUC019G 替え刃付き     1基
マキタ CE001GZ
パワーカッター ダイヤモンドホイール A-53877 1 基
切断砥石 A-68183
ルーカス SC358EW 予備バッテリー1 個
コンビツール

チルホール	TU-16 チルワイヤ 10m	1基
マルチスリング	4m 3m 2m	各1本
シャックル	3t	2個
背負い式消火器具	バルファースト	5個
	モリタテクノス ファイヤーパック	
送水装置	もしくは	1式
(山林火災用送水機)	メルセデステキスタイル社	1八
	小型・高性能送水装置 WICK 250	
クラス B 消火薬剤	国家検定合格品	5 缶
吹き流し一式	吹き流し ポール	1式
検問合図灯	JAZ-V40	1本
ホースバック	ホースバック OFD (FS ジャパン)	6個
送排風機	ダクト含む 防爆ママ	1台
コードリール	20m BN-30K	1個
防水型デジタルカメラ	リコー WG-80	1 基
消防隊員用安全ベスト	栃木市消防署仕様	5 着
三角表示板		1個
タイヤチェーン		1式
アルミBOX	収納棚用	4個
レンジャーロープ	市立制网	2巻
(カラーロープ)	東京製綱	∠ 苍
	FS 携帯酸素バック	
資機材搬送バック	ワッペン反射プリント 250	2個
	(F S ジャパン)	
ハリガンツール	ライトレスキュー ハリガン 30	1本
熱画像直視装置	FLIR K45	1個
	アクアラング	
	ウルトラストレッチウェットスーツ	
ウェットスーツ上下	(SAR 仕様)	3式
	ウルトラネッスルウェットスーツ	
	(SAR 仕様)	
潜水用ヘルメット一式	アクアラング	3個
マスク	アクアラング	3個
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ニーナ SAR マスク	の 10
スノーケル	アクアラング	3個
	マイスター SAR スノーケル	回。

グローブ	アクアラング	o /⊞
	レスキューグローブ	3個
マリンブーツ	アクアラング	3個
	エルゴブーツ	回で
トランシーバー	特定小電力無線機 アイコム	5基
携行缶	燃料補給用	1個
車両塗料		
充電式保冷温庫	マキタ CW001GZ バッテリー付	1基
	マキタ JR187DRGX 一式	
充電式レシプロソー	収納ケース	1個
	ブレード A-58001 5枚入り	
充電式フラッシュライト	マキタ ML007G	6個
   充電式タワーライト	マキタ ML004G	1個
	ライト用三脚 A-69129	1 脚
充電式ドライバドリル	マキタ DF001GRDX	1個
マキタバッテリー充電器	40V バッテリー BL4050F	20個
	パワーソースキット XGT6 A-72039	3器